

口絵 福島第一原発の状況、施設配置図、構内の空撮写真、  
SPEEDIの試算データ、被災した病院の地図、  
ワーキンググループ会合のゲストと検証委員会、避難した住民の暮らし

福島原発事故独立検証委員会 北澤宏一 委員長メッセージ  
「不幸な事故の背景を明らかにし安全な国を目指す教訓に」……………5

船橋洋一 プログラム・ディレクターからのメッセージ  
——「真実、独立、世界」をモットーに……………9

プロローグ 証言——防護服姿の作業員はみな、顔面蒼白だった——……………16

## 第1部 事故・被害の経緯……………21

### 第1章 福島第一原子力発電所の被災直後からの対応……………22

- 第1節 福島第一原子力発電所……………22
- 第2節 3月11日の対応……………23
- 第3節 3月12日の対応……………25
- 第4節 3月13日の対応……………28
- 第5節 3月14日の対応……………30
- 第6節 3月15日の対応……………32
- 第7節 3月16日以降の対応……………33
- 第8節 事故後に行われた解析、その他の注目すべき事項……………34

### 第2章 環境中に放出された放射性物質の影響とその対応……………44

- 第1節 土壌および海水への影響……………45
- 第2節 食品および水への影響と対応……………49
- 第3節 環境修復と廃棄物の処理……………58
- 第4節 低線量被曝……………62

## 第2部 原発事故への対応……………69

原子力施設の安全規制および法的枠組み……………70

### 第3章 官邸における原子力災害への対応……………74

- 第1節 福島原発事故への官邸の初動対応……………74
- 第2節 官邸による現場介入の評価……………94
- 第3節 官邸の初動対応の背景と課題……………99
- 第4節 事故からの教訓……………119

### 第4章 リスクコミュニケーション……………120

- 第1節 原子力災害の影響に対する国民の不安……………120
- 第2節 政府による危機時の情報発信……………121
- 第3節 海外への情報発信……………129
- 第4節 ソーシャルメディアの活用……………132
- 第5節 事故からの教訓……………144

## 第5章 現地における原子力災害への対応……………146

- 第1節 オフサイトセンターにおける原子力災害への対応……………148
- 第2節 自衛隊・警察・消防における原子力災害への対応……………158
- 第3節 SPEEDI……………171
- 第4節 避難指示……………187
- 第5節 地方自治体における原子力災害への準備と実際の対応……………197

特別寄稿 原発事故の避難体験記  
日本原子力産業協会参事 北村俊郎……………211

特別寄稿 原発周辺地域からの医療機関の緊急避難  
m3.com編集長 橋本佳子……………220

第6節 現地の被曝医療体制……………238

## 第3部 歴史的・構造的要因の分析……………245

### 第6章 原子力安全のための技術的思想……………249

- 第1節 ステークホルダーの責任と役割……………250
- 第2節 原子力安全研究の歴史……………251
- 第3節 設計想定事象(DBE)と、決定論的安全評価……………252
- 第4節 DBEを大幅に超える事故と、確率論的安全評価……………253
- 第5節 深層防護……………254
- 第6節 設計・建設に関する検証……………256
- 第7節 運転管理や保守に関する検討……………259
- 第8節 アクシデント・マネジメントの準備に関する検討……………262

### 第7章 福島原発事故にかかわる原子力安全規制の課題……………267

- 第1節 原子力安全規制の役割と責任……………267
- 第2節 津波に対する規制上の「備え」と福島原発事故……………268
- 第3節 全交流電源喪失(SBO)に対する  
規制上の「備え」と福島原発事故……………276
- 第4節 シビアアクシデントに対する  
規制上の「備え」と福島原発事故……………278
- 第5節 複合原子力災害への「備え」と福島原発事故……………286
- 第6節 問題の背景についての考察……………288

### 第8章 安全規制のガバナンス……………292

- 第1節 概要……………292
- 第2節 原子力行政の多元性……………294
- 第3節 原子力安全・保安院……………303
- 第4節 原子力安全委員会……………309
- 第5節 東京電力……………312
- 第6節 まとめ……………320

### 第9章 「安全神話」の社会的背景……………323

- 第1節 2つの「原子カムラ」と日本社会……………324
- 第2節 中央の「原子カムラ」……………325
- 第3節 地方の「原子カムラ」……………329
- 第4節 「原子カムラ」の外部……………332

第4部	<b>グローバル・コンテクスト</b> ……………335
第10章	<b>核セキュリティへのインプリケーション</b> ……………337
第1節	日本の核セキュリティ……………338
第2節	福島第一原子力発電所事故と核セキュリティ上の課題……………340
第3節	核セキュリティをめぐる事故後の対応……………344
第11章	<b>原子力安全レジームの中の日本</b> ……………345
第1節	国際的ピアレビューの発展……………347
第2節	ピアレビューと日本の対応……………348
第3節	地震と津波への備え：IAEAの指針と評価……………352
第4節	国際社会への情報提供のあり方について……………354
第5節	放射線防護のレジーム……………357
第6節	国際レジーム強化・改正をめぐる論議……………359
第7節	事故からの教訓……………360
第12章	<b>原発事故対応をめぐる日米関係</b> ……………362
第1節	国際協力の概要……………363
第2節	日米調整会合の設立と役割……………364
第3節	ケーススタディ……………373
第4節	国際支援受け入れ態勢をめぐる論点……………378
第5節	日米同盟は機能したのか……………379
最終章	<b>福島第一原発事故の教訓——復元力をめざして</b> ……………381
検証委員会委員メッセージ	
遠藤 哲也委員	福島事故が露呈した原子力発電の諸問題……………398
但木 敬一委員	国は原発事故の責任を自ら認めるべきだ……………399
野中郁次郎委員	現実直視を欠いた政府の危機管理……………400
藤井真理子委員	危機における情報開示に大きな課題……………401
山地 憲治委員	信頼の崩壊で危機を招いた事故対応……………402
福島原発事故検証委員会ワーキンググループ・リスト	……………403
資料	福島第一原子力発電所の不測事態シナリオの素描 (近藤駿介原子力委員長作成のいわゆる「最悪シナリオ」全文)